

授業概要

日本語教育概論、日本語教育法Ⅰ、Ⅱを学んだ者の最後の仕上げと言える実習である。将来、日本語教師として円滑に授業を行える力を養う。今まで勉強した日本語指導法をどのように外国人学習者に教えたらいいのか実際に教壇に立ち日本語指導法を体得する。日本語教育概論、日本語教育法Ⅰ（初級の内容）、Ⅱ（中級・上級の内容）で学んだ内容を踏まえ、教案・シラバス作成、試験作成、評価方法を学ぶ。これらの学習の後、日本語学校で初級・中級・上級クラスそれぞれで実習を行う。日本語学校は、漢字圏留学生の多い学校、非漢字圏留学生の多い学校と様々な学校を選ぶ予定である。

また、資格として有用な日本語教師能力試験対策もおこなう。

授業計画

第1回	日本語指導法総論（シラバス作成法、教案作成法、試験作成法、評価法）
第2回	初級レベルの教案の作り方
第3回	初級レベルの教案の作り方
第4回	授業見学
第5回	中級レベルの教案の作り方
第6回	中級レベルの教案の作り方
第7回	実習
第8回	実習
第9回	上級レベルの教案の作り方
第10回	上級レベルの教案の作り方
第11回	実習
第12回	実習
第13回	実習、
第14回	日本語教師能力試験対策
第15回	日本語教師能力試験対策
第16回	期末試験

到達目標

日本語教師を仕事として持てる実践力を身につける

履修上の注意

日本語教育概論、日本語教育法Ⅰ、Ⅱを履修していること

予習復習

課題をきちんと予習する。学んだことをきちんと復習すること

評価方法

授業態度（10%）、教案づくり等の課題・実習（70%）、期末試験（20%）

テキスト

担当者作成教材